

## 北から南への 轉住者よ

白鶴西爾時報

近頃又々北米の或邦人團體から、  
ブラジル轉住に關し其の可否を問合  
して來た。今日の世の中では、國際的  
旅行の自由を認めてゐるやうに、特  
別な法律を制定して、移民を禁止止  
事は、何等差支へ無い譯である。  
然し茲に一つの問題は、  
は果して、日本人の植民に適するや  
否や、經濟的に成功的印綬を握り  
得るや否やとの事であり、北米の或  
邦人團體からの問合せも、此點を具  
體的に聞かんとするのであらうが、  
記者の過古八年間経験した處に據  
れば、  
（1）  
（2）  
（3）  
（4）  
（5）  
（6）  
（7）  
（8）  
（9）  
（10）  
（11）  
（12）  
（13）  
（14）  
（15）  
（16）  
（17）  
（18）  
（19）  
（20）  
（21）  
（22）  
（23）  
（24）  
（25）  
（26）  
（27）  
（28）  
（29）  
（30）  
（31）  
（32）  
（33）  
（34）  
（35）  
（36）  
（37）  
（38）  
（39）  
（40）  
（41）  
（42）  
（43）  
（44）  
（45）  
（46）  
（47）  
（48）  
（49）  
（50）  
（51）  
（52）  
（53）  
（54）  
（55）  
（56）  
（57）  
（58）  
（59）  
（60）  
（61）  
（62）  
（63）  
（64）  
（65）  
（66）  
（67）  
（68）  
（69）  
（70）  
（71）  
（72）  
（73）  
（74）  
（75）  
（76）  
（77）  
（78）  
（79）  
（80）  
（81）  
（82）  
（83）  
（84）  
（85）  
（86）  
（87）  
（88）  
（89）  
（90）  
（91）  
（92）  
（93）  
（94）  
（95）  
（96）  
（97）  
（98）  
（99）  
（100）  
（101）  
（102）  
（103）  
（104）  
（105）  
（106）  
（107）  
（108）  
（109）  
（110）  
（111）  
（112）  
（113）  
（114）  
（115）  
（116）  
（117）  
（118）  
（119）  
（120）  
（121）  
（122）  
（123）  
（124）  
（125）  
（126）  
（127）  
（128）  
（129）  
（130）  
（131）  
（132）  
（133）  
（134）  
（135）  
（136）  
（137）  
（138）  
（139）  
（140）  
（141）  
（142）  
（143）  
（144）  
（145）  
（146）  
（147）  
（148）  
（149）  
（150）  
（151）  
（152）  
（153）  
（154）  
（155）  
（156）  
（157）  
（158）  
（159）  
（160）  
（161）  
（162）  
（163）  
（164）  
（165）  
（166）  
（167）  
（168）  
（169）  
（170）  
（171）  
（172）  
（173）  
（174）  
（175）  
（176）  
（177）  
（178）  
（179）  
（180）  
（181）  
（182）  
（183）  
（184）  
（185）  
（186）  
（187）  
（188）  
（189）  
（190）  
（191）  
（192）  
（193）  
（194）  
（195）  
（196）  
（197）  
（198）  
（199）  
（200）  
（201）  
（202）  
（203）  
（204）  
（205）  
（206）  
（207）  
（208）  
（209）  
（210）  
（211）  
（212）  
（213）  
（214）  
（215）  
（216）  
（217）  
（218）  
（219）  
（220）  
（221）  
（222）  
（223）  
（224）  
（225）  
（226）  
（227）  
（228）  
（229）  
（230）  
（231）  
（232）  
（233）  
（234）  
（235）  
（236）  
（237）  
（238）  
（239）  
（240）  
（241）  
（242）  
（243）  
（244）  
（245）  
（246）  
（247）  
（248）  
（249）  
（250）  
（251）  
（252）  
（253）  
（254）  
（255）  
（256）  
（257）  
（258）  
（259）  
（260）  
（261）  
（262）  
（263）  
（264）  
（265）  
（266）  
（267）  
（268）  
（269）  
（270）  
（271）  
（272）  
（273）  
（274）  
（275）  
（276）  
（277）  
（278）  
（279）  
（280）  
（281）  
（282）  
（283）  
（284）  
（285）  
（286）  
（287）  
（288）  
（289）  
（290）  
（291）  
（292）  
（293）  
（294）  
（295）  
（296）  
（297）  
（298）  
（299）  
（300）  
（301）  
（302）  
（303）  
（304）  
（305）  
（306）  
（307）  
（308）  
（309）  
（310）  
（311）  
（312）  
（313）  
（314）  
（315）  
（316）  
（317）  
（318）  
（319）  
（320）  
（321）  
（322）  
（323）  
（324）  
（325）  
（326）  
（327）  
（328）  
（329）  
（330）  
（331）  
（332）  
（333）  
（334）  
（335）  
（336）  
（337）  
（338）  
（339）  
（340）  
（341）  
（342）  
（343）  
（344）  
（345）  
（346）  
（347）  
（348）  
（349）  
（350）  
（351）  
（352）  
（353）  
（354）  
（355）  
（356）  
（357）  
（358）  
（359）  
（360）  
（361）  
（362）  
（363）  
（364）  
（365）  
（366）  
（367）  
（368）  
（369）  
（370）  
（371）  
（372）  
（373）  
（374）  
（375）  
（376）  
（377）  
（378）  
（379）  
（380）  
（381）  
（382）  
（383）  
（384）  
（385）  
（386）  
（387）  
（388）  
（389）  
（390）  
（391）  
（392）  
（393）  
（394）  
（395）  
（396）  
（397）  
（398）  
（399）  
（400）  
（401）  
（402）  
（403）  
（404）  
（405）  
（406）  
（407）  
（408）  
（409）  
（410）  
（411）  
（412）  
（413）  
（414）  
（415）  
（416）  
（417）  
（418）  
（419）  
（420）  
（421）  
（422）  
（423）  
（424）  
（425）  
（426）  
（427）  
（428）  
（429）  
（430）  
（431）  
（432）  
（433）  
（434）  
（435）  
（436）  
（437）  
（438）  
（439）  
（440）  
（441）  
（442）  
（443）  
（444）  
（445）  
（446）  
（447）  
（448）  
（449）  
（450）  
（451）  
（452）  
（453）  
（454）  
（455）  
（456）  
（457）  
（458）  
（459）  
（460）  
（461）  
（462）  
（463）  
（464）  
（465）  
（466）  
（467）  
（468）  
（469）  
（470）  
（471）  
（472）  
（473）  
（474）  
（475）  
（476）  
（477）  
（478）  
（479）  
（480）  
（481）  
（482）  
（483）  
（484）  
（485）  
（486）  
（487）  
（488）  
（489）  
（490）  
（491）  
（492）  
（493）  
（494）  
（495）  
（496）  
（497）  
（498）  
（499）  
（500）  
（501）  
（502）  
（503）  
（504）  
（505）  
（506）  
（507）  
（508）  
（509）  
（510）  
（511）  
（512）  
（513）  
（514）  
（515）  
（516）  
（517）  
（518）  
（519）  
（520）  
（521）  
（522）  
（523）  
（524）  
（525）  
（526）  
（527）  
（528）  
（529）  
（530）  
（531）  
（532）  
（533）  
（534）  
（535）  
（536）  
（537）  
（538）  
（539）  
（540）  
（541）  
（542）  
（543）  
（544）  
（545）  
（546）  
（547）  
（548）  
（549）  
（550）  
（551）  
（552）  
（553）  
（554）  
（555）  
（556）  
（557）  
（558）  
（559）  
（560）  
（561）  
（562）  
（563）  
（564）  
（565）  
（566）  
（567）  
（568）  
（569）  
（570）  
（571）  
（572）  
（573）  
（574）  
（575）  
（576）  
（577）  
（578）  
（579）  
（580）  
（581）  
（582）  
（583）  
（584）  
（585）  
（586）  
（587）  
（588）  
（589）  
（590）  
（591）  
（592）  
（593）  
（594）  
（595）  
（596）  
（597）  
（598）  
（599）  
（600）  
（601）  
（602）  
（603）  
（604）  
（605）  
（606）  
（607）  
（608）  
（609）  
（610）  
（611）  
（612）  
（613）  
（614）  
（615）  
（616）  
（617）  
（618）  
（619）  
（620）  
（621）  
（622）  
（623）  
（624）  
（625）  
（626）  
（627）  
（628）  
（629）  
（630）  
（631）  
（632）  
（633）  
（634）  
（635）  
（636）  
（637）  
（638）  
（639）  
（640）  
（641）  
（642）  
（643）  
（644）  
（645）  
（646）  
（647）  
（648）  
（649）  
（650）  
（651）  
（652）  
（653）  
（654）  
（655）  
（656）  
（657）  
（658）  
（659）  
（660）  
（661）  
（662）  
（663）  
（664）  
（665）  
（666）  
（667）  
（668）  
（669）  
（670）  
（671）  
（672）  
（673）  
（674）  
（675）  
（676）  
（677）  
（678）  
（679）  
（680）  
（681）  
（682）  
（683）  
（684）  
（685）  
（686）  
（687）  
（688）  
（689）  
（690）  
（691）  
（692）  
（693）  
（694）  
（695）  
（696）  
（697）  
（698）  
（699）  
（700）  
（701）  
（702）  
（703）  
（704）  
（705）  
（706）  
（707）  
（708）  
（709）  
（710）  
（711）  
（712）  
（713）  
（714）  
（715）  
（716）  
（717）  
（718）  
（719）  
（720）  
（721）  
（722）  
（723）  
（724）  
（725）  
（726）  
（727）  
（728）  
（729）  
（730）  
（731）  
（732）  
（733）  
（734）  
（735）  
（736）  
（737）  
（738）  
（739）  
（740）  
（741）  
（742）  
（743）  
（744）  
（745）  
（746）  
（747）  
（748）  
（749）  
（750）  
（751）  
（752）  
（753）  
（754）  
（755）  
（756）  
（757）  
（758）  
（759）  
（760）  
（761）  
（762）  
（763）  
（764）  
（765）  
（766）  
（767）  
（768）  
（769）  
（770）  
（771）  
（772）  
（773）  
（774）  
（775）  
（776）  
（777）  
（778）  
（779）  
（780）  
（781）  
（782）  
（783）  
（784）  
（785）  
（786）  
（787）  
（788）  
（789）  
（790）  
（791）  
（792）  
（793）  
（794）  
（795）  
（796）  
（797）  
（798）  
（799）  
（800）  
（801）  
（802）  
（803）  
（804）  
（805）  
（806）  
（807）  
（808）  
（809）  
（810）  
（811）  
（812）  
（813）  
（814）  
（815）  
（816）  
（817）  
（818）  
（819）  
（820）  
（821）  
（822）  
（823）  
（824）  
（825）  
（826）  
（827）  
（828）  
（829）  
（830）  
（831）  
（832）  
（833）  
（834）  
（835）  
（836）  
（837）  
（838）  
（839）  
（840）  
（841）  
（842）  
（843）  
（844）  
（845）  
（846）  
（847）  
（848）  
（849）  
（850）  
（851）  
（852）  
（853）  
（854）  
（855）  
（856）  
（857）  
（858）  
（859）  
（860）  
（861）  
（862）  
（863）  
（864）  
（865）  
（866）  
（867）  
（868）  
（869）  
（870）  
（871）  
（872）  
（873）  
（874）  
（875）  
（876）  
（877）  
（878）  
（879）  
（880）  
（881）  
（882）  
（883）  
（884）  
（885）  
（886）  
（887）  
（888）  
（889）  
（890）  
（891）  
（892）  
（893）  
（894）  
（895）  
（896）  
（897）  
（898）  
（899）  
（900）  
（901）  
（902）  
（903）  
（904）  
（905）  
（906）  
（907）  
（908）  
（909）  
（910）  
（911）  
（912）  
（913）  
（914）  
（915）  
（916）  
（917）  
（918）  
（919）  
（920）  
（921）  
（922）  
（923）  
（924）  
（925）  
（9

(孫逸仙の葬儀) 孫逸仙の遺骸に別れを惜しみに來た者の數五十萬に達した知友は葬儀のカトリック教式に行はれるのを反対したが遺族は故人は基督を不滅の革命者として崇敬し基督教徒を以て任じてゐたからと云つて同式に依り行はれた

(船橋破壊多數兵士溺死) **（バルマス島）** 米國と和蘭は比律賓と蘭領印度との間にあるバルマス島の領土権問題を仲裁々判に附する旨の協定を調印した

<p>右急用あり 至急當館に出頭又は所在地御通知ある者専右者現住地知悉者は其旨御一報を乞ふ 大正十四年三月十四日</p> <p>在バウル一</p>
<p>尋人</p>
<p>鳥取縣日野郡石見村 舊住所 ボリス驛カンタガロ耕耕地 尋人 吉木清藏 民治十五年二月生 右者當地サンタカーニエ及米人齒科整等に一コント餘の負債を残し妻王玉子 術の爲行方を晦ませり本人現住所不 知承知の方は匿名にても差支無き 付御一報煩はし度申候 大正十四年三月</p>
<p>在リベロンブレーント</p>
<p>日本總領事館分館</p>
<p>本籍鹿兒島縣姶良郡西國分村大字 内山田</p>
<p>尋人 豊田盛吉 右の者現住所知りなし御存知の御方 は何卒左記宛御一報被下度願上候</p>
<p>坂本清彦</p>
<p>Kiyoshiro Sakamoto</p>
<p>原籍 福井縣坂井郡鷹巣村濱住 外家族三名</p>
<p>尋人 家長山本善松</p>
<p>Pau I., de Interpreting, 20 S. Paulista</p>
<p>右至急要件有現住所御一報相煩度候 海外興業株式會社 移民部</p>
<p>精製ニ粗製ニ兩様あり 出来ます、</p>
<p>Po(粉製)炭火用の焜爐を すぐ間にあります、</p>
<p>毒驅虫剤 綿のコルケレには最も で危険のない</p>







ラヂオ専門家を集め  
▼麻布の空に關所

東京に生れる空の警察  
悪戯の放送家監視△

假放送の準備を急いでる東京放送  
局に二月十七日文部省から正式に芝  
浦高等工藝學校の一部借受の認可が  
下がつた、また遞信省からも隣の電  
氣試験所の

木柱に

三十尺の繩足差支へな

しと云ふ許可も下つて、事は順調に

運んでゐる、此上は遞信省から假放  
送の許可をあへ出れば、豫定通り三月  
一日から假放送が出来る譯で、此點  
は放送局當事者も熱心な無線家も等  
しく、一刻も早かれて望んで其日の  
用意に餘念がないのだが一方これ  
足並を揃へて準備萬端抜け目なく用  
意を整へてゐるので、空のある  
關所が此處では電波に乗つて  
四方に撒かる新聞記事や放送局から  
署である、それが東京遞信局電信課  
の一部に假放送の日と一時に生聲  
を擧げる事になつた、麻布

廣尾の

同局南隅には高さ百尺  
の鐵塔を建てるべく既に工事に着手  
したが、同時に三階建の鐵塔に一番  
近い室には、遞信省から機械一式を  
送るが神域を侵したのは明らかに不敬行  
為である、尙十六日から東京放  
送局で受附けた無電設置願ひは直に  
東京遞信局へ差出されたが、遞信局  
では假放送に十分間に合ふやう許可  
する方針である

専門家

を集めたいと、目下東  
京遞信局で其向に交渉中である、現  
在何萬あるか見當もつかない手製の  
受信機、放送機など、此處の御役人  
の手にかゝつて犯したものは罰せら  
れる譯である、尙十六日から東京放  
送局で受附けた無電設置願ひは直に  
東京遞信局へ差出されたが、遞信局  
では假放送に十分間に合ふやう許可  
する方針である

各内店

では皮肉にも「神戸肉

伊勢大廟の宮域林に隣接する島

路山、神路山の御料林は大正十一年  
十二月に宮城林に編入されたが兩山

伊勢大廟内宮の宮域林に隣接する島

伊勢大廟の宮域林に隣接する島

## イシドウロ少将の命令だと叛乱を企つ

マ州駐屯軍下士連

去月二十六日拂曉マトグロツク州コルンバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の下士官アキノ及グランジャーの兩人は、大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。同大尉は監禁されたがペレイラ大尉ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したので早速對抗行動をとり間もなく首領の前二下士を逮捕したが其際將校及下士各一名の負傷者を生じた。コレ少將の命令に従つたのどうぞ聞いてゐた。

### 内亂に關しての

## 伯烏協約成立

協約國の一國に内亂が起きた場合之を直ちに協約國に通じ、通知を受けた國は適當な手配をして自國民又は國內在留外人が協約國の叛徒と意を通じて呼應する事を防ぐと云ふ協定が伯國とウルグアイ國との間に成立し去月三十日モンテビデオで駐島伯國公使及ウルグアイ國外務大臣との間に調印済となつた。

## 諸大官の任命

總領事館着情報

三十日平田東助内大臣辭任に伴ひ内大臣牧野伸顯、宮内大臣一本喜徳郎、樞密院副議長種積陳重、樞密顧問官内田康哉夫々任命

## 帝國議會雑題

國會議會の會期一日延長、豫算案は師範教育費百萬圓削除で二十五日議會通過。貴族院改組案貴族院令の改正は左の通り修正同院通過

(一)官職議員全額削除學士院互選議員は原案の儘

## 大旋風襲來

通信機關も破壊され不通となつた、

## 在伯日本人同仁會

去月二十六日夜亞國サンタ・フエ州

は去月卅一日第二回定期總會を日本

## 若干部隊は駐屯

師團は廢止しても

## 定期總會を開いた

在留民保健の爲め昨年二月廿六日當

## 在伯日本人同仁會

は去月卅一日第二回定期總會を日本

## 帝國議會雑題

國會議會の會期一日延長、豫算案は師範教育費百萬圓削除で二十五日議會通過。貴族院改組案貴族院令の改正は左の通り修正同院通過

（一）官職議員全額削除學士院互選議員は原案の儘

## 伯烏協約成立

總領事館着情報

株の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕したが其際將校

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

下士官アキノ及グランジャーの兩人は、

大隊の率を從へ同大隊を襲ひ當直中の同大隊長ヒント大尉を監禁してしまつた。

同大尉は監禁されたがペレイラ大尉

ブリニヨ中尉其他二三の下士に急を

傳へ直ちに叛徒鎮定方を命令したの

で早速對抗行動をとり間もなく首領

の前二下士を逮捕する第二十二區

及下士各一名の負傷者を生じた、コレ

レルバ市屯營の狙撃兵第十七大隊の

